

6 自治・行政運営

1 市民と行政の協働による地域づくり

担 《 》 : 令和8年度担当課
当 () : 令和7年度担当課

協働のまちづくり推進事業

1,000 千円 予算書 57 ページ 《 担 市民課 》

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業に助成し、住民主体の活気ある地域づくりを推進します。
市民活動団体の活動中の事故には市民活動保険制度で補償します。

地域活動促進事業

28,183 千円 予算書 57~58 ページ 《 担 市民課 》

住みよい地域づくりに向けて取り組む自治会や、地域の連帯を深めて住みよい地域社会の形成に向けて取り組むコミュニティづくり推進協議会等の活動を支援することで、地域活動を促進します。

2 将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営

閉所施設管理事業（旧立戸保育所解体事業）

75,000 千円 予算書 94 ページ 《 担当 小ども家庭課
(福祉課) 》

小方認定こども園に移転統合した「旧立戸保育所」の建物を解体します。

令和7年度に実施した設計に基づいて、令和8年度は解体工事を行います。

3 公営企業などの健全な経営

土地開発公社経営健全化対策事業

20,010 千円 予算書 145 ページ 《 担当 監理課 》

土地開発公社の財務状況改善のため、利子補給や土地売却に伴う損失補填等のための補助を行います。

4 時代に対応した情報化の推進とまちの魅力発信

新規
拡充

情報化推進事業

67,929 千円

《 担当 企画財政課
福祉課
こども家庭課
(保健医療課)
総務学事課 》

(特定財源:地域未来交付金27,379千円、デジタル活用推進事業債
6,900千円、窓口スマート化事業債4,500千円 予算書28、39ページ)

デジタルトランスフォーメーション(DX)等を推進する「DX等推進事業」及びデジタル技術を活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む「地域未来交付金事業」を柱に、情報化の推進に取り組みます。

DX等推進事業	<p>【拡充】</p> <p>社会福祉事務(窓口スマート化事業) 【予算書73頁】</p>	5,027 千円	「書かない窓口」を推進するため、マイナンバーカードなどを活用して名前・住所などを申請書に自動転記する機器を健康福祉部窓口にも導入(4台)します。申請書の書き間違いや書き直しなどによる申請手続きの手間や時間を減らし、窓口手続きに要する時間の短縮を図ります。
	<p>【新規】</p> <p>電子計算機管理事業(eL-QRを活用した公金収納導入事業) 【予算書55頁】</p>	7,748 千円	市民や事業者の利便性向上のため、公金をQRコード等により電子納付することができるよう、財務会計システム及び基幹業務システムを改修します。
地域未来交付金事業	<p>【新規】</p> <p>市立保育所等運営管理事業(保育ICTシステム整備事業) 【予算書93頁】</p>	12,392 千円	保護者の欠席連絡や連絡帳の記入、保育所のお便りの配信等、保育施設と保護者間の情報連携を円滑化することで保護者の利便性及び満足度の向上を図るため、大竹保育所及び小方認定こども園に保育ICTシステムを整備します。

地域未来交付金事業	<p>拡充</p> <p>利用者支援事業 (子育て支援アプリ機能拡張等事業) 【予算書116頁】</p>	<p>21,444 千円</p>	<p>おおたけ子育て支援アプリ機能を拡張し、乳幼児健診の際に提出するデジタル問診票の導入により、妊娠期から子育て期の家庭に対する手続きに要する負担の軽減を図ります。</p> <p>また、妊娠届等のデジタル化、オンライン予約の実装を行い、より簡単・便利で安心・安全な母子保健・子育て支援を実現します。</p>
	<p>新規</p> <p>小・中学校管理運営事業(電子黒板整備事業) 【予算書181、185頁】</p>	<p>21,318 千円</p>	<p>児童・生徒のICT機器利用機会の創出、主体性と表現力の向上のため電子黒板を整備します。</p> <p>また、電子黒板により特別支援学級において配慮が必要な児童・生徒の実態やニーズに応じた支援を充実させます。</p>